

夏号

令和2年
(2020年)

大津・南部の農業

発行

滋賀県大津・南部農業農村振興事務所農産普及課 草津市草津三丁目14-75
 ●TEL 077-567-5421~5423 ●FAX 077-562-8144 ●メールアドレス ga35@pref.shiga.lg.jp
 ●https://www.facebook.com/facetoagri.o.n ●発行責任者 笠井 剛

この印刷物は古紙パルプを配合しています

新型コロナウイルスに負けるな!!

農業者の皆さまは生活に欠かすことのできない食糧生産という重要な役割を担っています。新型コロナウイルス感染の不安が暗い影を落とす状況ですが、消費者の皆さまに安全でおいしい農産物を提供しつづけることが大切です。自らの感染防止対策はもちろん、生産組織や従業員への感染防止にも注意していただき、困難に打ち勝ちましょう。

農業における3密対策

~今年はやり方を見直しませんか?~

作業前後の打ち合わせや休憩時間、集団で行う草刈り、側溝の掃除など、多くの農作業に3密がひそんでいます。作業員間の間隔(空間的、時間的)を空け、マスクの着用や換気を徹底するなど、農業の3密対策を十分行ってください。

作業には事故など危険が伴います。3密を避けつつ、1人作業とならないよう安全確保が不可欠です。

こんな場面に注意



調製

打ち合わせ



複数人での収穫作業

感染予防のために...

- 会議や行事の必要性を再検討、必要な場合は最少人数・短時間で!
- こまめな体温測定・発熱者は自宅待機を徹底
- 屋内やハウスの作業はマスク、手袋を着用し、換気を徹底
- 出荷作業前後の念入りな手洗いと手指消毒
- 冷蔵庫やドアのノブ、出荷調製器具などよく手が触れる部分の拭き取り消毒

万一、
感染が発生
したら?

保健所の指示に従います。一般的な衛生管理が実施されている場合は、感染者が従事した区域、頻りに手を触れる箇所をアルコール等で消毒することで、出荷停止や農産物を廃棄する必要はありませんので安心してください。

(草津保健所TEL: 077-562-3526)

※大津市在住の方は大津市保健所(TEL:077-522-7228)までご連絡をお願いいたします。

「特A」二冠取得!!

令和元年産「みずかがみ」・「コシヒカリ」

令和元年産米の食味ランキング表

【(一財)日本穀物検定協会ホームページより引用】

(産地)	(地区)	(品種名)	令和元年産 ランク	平成30年産 ランク	平成29年産 ランク
愛知 (作況指数 98)	三河中山間	あいちのかおり	A	A	A
		コシヒカリ	A	A'	A'
		ミネアサヒ	A'	A	A
三重 (作況指数 95)	伊賀 北勢・中勢・南勢	コシヒカリ	A	特A	特A
		コシヒカリ	A'	A'	A'
滋賀 (作況指数 98)		コシヒカリ	特A	A	A
		みずかがみ	特A	A	特A
京都 (作況指数 99)	丹後	コシヒカリ	A	A	A
	丹波	コシヒカリ	A	A	A
	丹波	キヌヒカリ	A	特A	特A
	山城	ヒノヒカリ	A	A'	-



「お米のおいしさ」評価で最も注目される(一財)日本穀物検定協会による「食味ランキング」において、令和元年産の滋賀県産「みずかがみ」と「コシヒカリ」が、最高の食味「特A」と評価されました。

「みずかがみ」は平成27年産から3年間連続で特A評価を獲得してきましたが、今回の「コシヒカリ」の特A評価は本県にとって初めての快挙です。

環境こだわり栽培をはじめとする、品質にこだわった米づくりがようやく実を結びました。近江米は安全・安心なお米として近畿や中部地域で好評を得てきましたが、今回の「特A」W取得によって、さらにおいしい米として、ますます売れ行きが伸びるものと期待されます。

「良食味」と「外観」に優れた米づくりは、肥料に頼りすぎず、地力に応じて生育量を抑えることが大きなポイント。そして、これから成熟期を迎えるまでの葉色を、濃すぎず、淡すぎず管理し、稲(根も)の元気さを保つことが重要です。

来年産に向けた取り組みも含め、「特A」品質の米づくりに関心のある方は当課までご相談ください。



若手農家 頑張っでんで!!

～青年農業者クラブの取り組み～



大津地域青年農業者クラブ季楽里(きらり)と南びわこ青年農業者連合会の活動について紹介します。「季楽里」はメンバー12人、「南びわこ」はメンバー23人で活動しています。各クラブは水稻、露地野菜、施設野菜、果樹など多様な農業者により構成され、農業大学の卒業生、他業種からの転職など経歴も様々です。クラブでは、食農教育・次世代の育成を目的とした農業体験の授業を主催するほか、新規参入した若手農業者と交流するなど地域農業の活性化に取り組んでいます。

★ 食農教育・次世代の育成についての取り組み

地元小学生を対象に農業体験の授業を行っています。子どもたちは田んぼで泥まみれになりながら、農業を身近に感じ、おいしいお米が農家の努力によって食卓に届けられていることを知る良い機会となりました。

また、農業高校生との交流会では、「農業って儲かるの?」「就農前にすべきことは何?」といった素朴な疑問に青年農業者が答えたことで、就農に向けた具体的なイメージを得る機会となりました。



田植体験(大津市大物のほ場)「季楽里」

★ 地域農業の活性化への取り組み

地域農業の活性化に向け、関係機関同席のもとワークショップを開催しました。「伝統野菜の“矢島かぶ”や“山田ねずみ大根”の栽培面積や販路の拡大を進めたい」や「地元で採れたメロンやイチゴをジュース等に加工し、地元食材の新たな利用と販路拡大につなげたい」など新たに地域の特徴を活かした農業を実践することで地域農業が活性化できないかといった提案がされました。

また、「いちじくの生産拡大に向け、自らがユーチューバー(動画配信者)となり、品質や栽培に関するPRを行う」といった若手ならではの発想で地域を動かしたいという想いが生まれました。



地域農業の活性化にむけたワークショップ「南びわこ」

目隠し資材でイノシシの水稲被害を軽減

県内の、野生鳥獣による農作物被害の約6割がイノシシによる水稲への被害です。イノシシ対策に効果のある新たな技術についてご紹介します。

1 目隠し効果でイノシシ被害がなくなりました!

ワイヤーメッシュの侵入防止柵に、追加的にトタン板や防草シートによる目隠し対策を実施しているほ場を各地で見かけます。柵の内側(ほ場)の様子が見えないことで侵入行動を抑制できることは確認されていましたが、設置の手間や経費、強風等への対策が課題となっていました。そこでトタン等にかわる手軽な目隠し資材の実証を行いました。イノシシは視力が弱いことから、目隠し資材として4mm目合の防風ネットを用いて地上高1mまでワイヤーメッシュ柵の面に設置しました。水稲(早生種)収穫までの1か月間、侵入状況や資材の耐久性について調査したところ、実証を行った3ヶ所のほ場ともイノシシの侵入は見られず、資材に大きな破損も発生しませんでした。

2 資材費

トタン板を設置する従来の方法では資材費が500~700円/mとなるのに対し、防風ネットでは100円程度(4mm防風ネットをインシュロックで固定)となりました。

なお、獣害対策技術は、環境や個体差が大きく影響するため、必ずしも期待した効果が現れるものではありません。詳しくは農産普及課にご相談ください。



あなたも

滋賀県立農業大学校養成科で学んでみませんか

修業年数 ▶ 2年

専攻コース ▶ 作物、茶、野菜、花き、果樹、畜産

応募資格 ▶ 高等学校卒業者および令和3年3月卒業見込みの者、またはこれと同等以上の学力を有すると農業大学校長が認めた者

所在地 ▶ 近江八幡市安土町大中503

願書受付期間 ▶ 推薦：令和2年10月9日(金)~10月20日(火)まで
一般：令和2年11月27日(金)~12月8日(火)まで

詳しくは農業大学校(0748-46-2551)または当課までお問い合わせください。